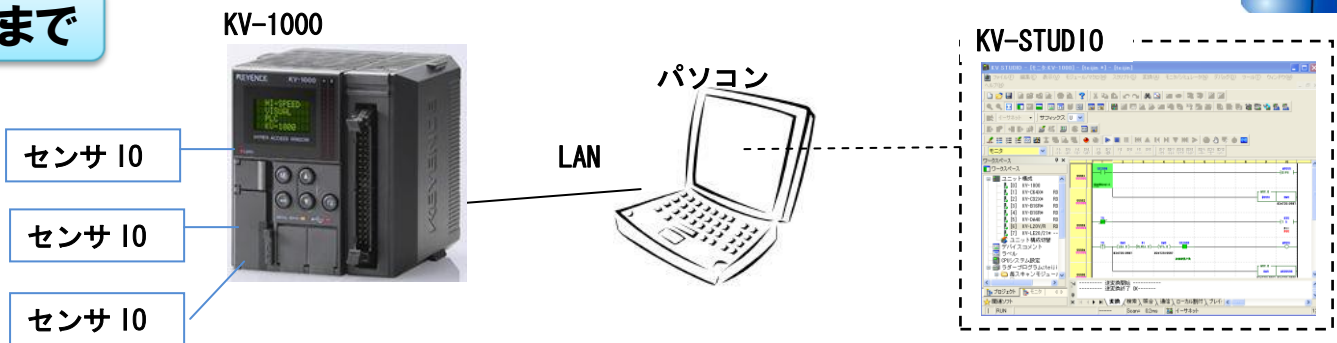


# PLC遠隔監視サービス

今までは、センサ設置現場で収集データを確認していた環境



## 今まで



設置現場が遠距離なので、事務所からデータの確認ができれば....

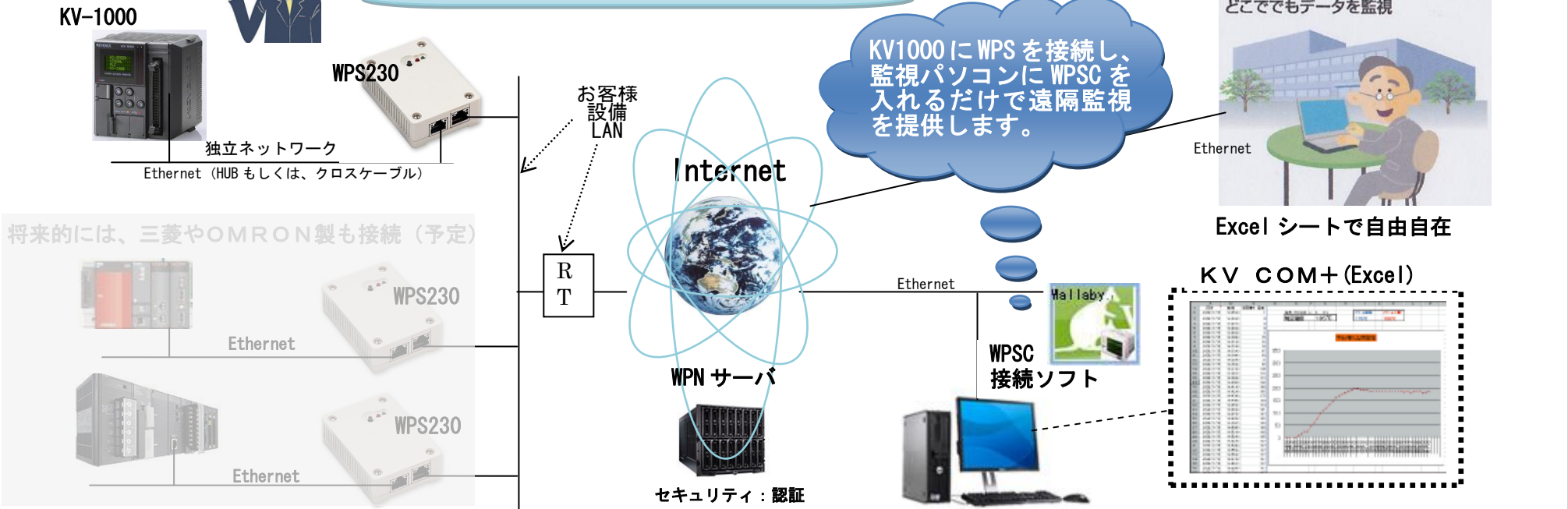
PLC やシーケンサのデータを工場以外から見るなんて考えた事もない.... でも、遠隔地から見れたら便利だな。でも、専門家でないとできないの？



## 新サービス



Internet が繋がる場所であれば接続できます



将来的には、三菱やOMRON製も接続 (予定)

## 遠隔監視サービス仕様

WPN遠隔監視サービスは、①WPS ②WPNサーバ ③WPSC接続ソフトで構成され、KV1000 のデータを遠隔地のパソコン上のリアルタイムモニタやKV-COM+を使いユーザ自身で作成できる Excel シートにてデータを参照することができるサービスを提供します。

### ① WPSは

MicroLinux を搭載した小型サーバです。インターネットからKV1000 への要求を確実に転送します。



### ネットワーク経路を提供

WPS 230は、2つのネットワークを繋ぐルーティング機能を提供します。KV1000 ネットワークには、固定 IP アドレスでの接続し、インターネットへの接続には、DHCPにより IPアドレスを取得します。(固定アドレスも可能です)

### WPNサーバとの接続

電源をONすることで、WPNサーバとの接続を確立します。WPNサーバとの通信により、設置場所を移動しても問題ありません。WPSには固有のIDを持ち、WPNサーバへIDを通知することで利用できるユーザを特定しています。

### WPS仕様

	分類	仕様
1	CPU	ARM920T/200MHz
2	OS	Linux/Kernel2.6
3	LAN	Ethernet/10Base-T 100Base-T
5	Secure	SSH WPNのID認証
6	Network 帯域	10Mbps以上

### ②WPNサーバは

クラウドサーバとして、セキュリティ機能を提供します。WPSのIDとWPSC接続ソフトとのIDを1対1にて対応付け接続認証後、確実に要求を相手に転送します。



### 経路管理

WPNサーバは、ID認証機能と経路管理機能およびWPS管理機能を提供します。WPSC接続ソフトとWPSとの接続認証を行い、不正なアクセスを排除します。経路管理では、WPSのIPアドレスを管理し、WPSC接続ソフトからの要求を対応するWPSへ転送します。WPS管理機能では、経度緯度を登録し名称を設定することで、地図上での位置を表示することができます。(地図表示はオプション機能)

### ③WPSC接続ソフトは

Windows パソコンで動作するTCPポートの転送ソフトです。リアルタイムチャートモニタの要求を、確実に対象となるWPSに届ける為の入り口になります。

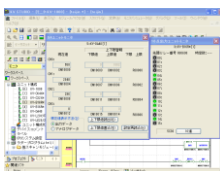


### WPSC接続ソフト

起動することで、タスクバー内に格納されます。終了時はタスクバーのアイコンをクリックして終了してください。本ソフトウェアは、インターフェースとしてローカルホストを利用しています。ローカルホストへのアクセス要求を登録されたIDに対応するWPSへ確実に届けます。また、逆のデータの流れもローカルホストを経由してアプリケーションに戻します。

### WPSC 接続ソフト仕様

	動作環境	備考
1	WindowsXP	SP2以降 Pentium以上
2	メモリ	512M以上
3	HDD	空き1G以上
4	Interface	localhost
5	Port (KV用)	8500, 8501
6	Network 帯域	10Mbps以上



### KV STUDIO や KV COM+

遠隔地に設置したKV1000のデータを取得しグラフ表示します。(詳細は、KV1000のマニュアルを参照)本ソフトは、WPSC接続インターフェースであるローカルホスト『127.0.0.1』に対して要求を送信することでWPNサーバを経由してその要求はWPSに接続したKV1000に届けられ、その応答も同一の経路で戻ってきます。

## 注意事項

No.	項目	内容	備考
1	WPS 設置場所	インターネットが利用できる環境であれば設置可能です。 企業により外部へのアクセス制限がある場合は、設定の調整が必要な場合があります。 WPS が利用しているポートは、80と443となります。 プロキシサーバを利用している場合は、事前に設定が必要になります。	設置場所の情報を提供頂き出荷時に設定を行います。
2	セキュリティ	本サービスは、WPN (WallabyPrivateNetwork) サーバを利用して、1対1の認証の後仮想的な経路を提供するものです。本サーバにて利用者とセンサーを対応づけるため、他からのアクセスはできません。	
3	利用制限	WPS は契約者一人が1台のパソコンから監視するように設計されています。 WPSC を複数のパソコンへのインストールは可能ですが、同時での利用は厳禁です。 必ず、利用しなくなったパソコンでは、WPSC の終了を行ってください。	常に WPSC の位置と WPS の位置の確認を通信にて行っています。
4	WPS230 接続	KV1000 と WPS の接続は、LAN の線を ET1 差し込むだけで設定は、固定 IP と接続する事としています。 外部との接続は、ETO コネクタにインターネットの線を接続してください。 外部との接続については、DHCPであることを前提としております。 環境により固定 IP が必要な場合は、事前に情報を提供頂き、出荷時に設定致します。	
5	初期設定	WPS と WPSC は1対1に対応づけるための、IDを持っています。IDは、出荷時にそれぞれに設定を行いますので、設置場所のWPS と対応するWPSC を間違わないように管理をお願いいたします。	※1
6	サーバ利用料	初期費用には、WPS 本体、WPSC ソフトライセンス、ID 設定費用に、1年間のWPNサーバ利用料金が含まれています。ご契約期間は出荷時点を基点として1年間は利用可能です。 1年以降に利用されない場合は、書面による終了お手続きをお願い致します。 終了されない場合は、自動継続となりますのでご注意ください。	サーバ利用料 ID 1つに対して 3000 円/月 のライセンス費用です
7	接続機器	三菱電機シーケンサやオムロン製の PLC は、将来的にWPS と接続予定です。 しかし、収集するソフトウェアが Ethernet に対応する必要があるため、順次検証をおこない、確認ができしだいリリース時期を連絡させていただきます。	
8	問合せ	お問い合わせはメールにて受け付けております。 <a href="mailto:wallaby@secondselection.com">wallaby@secondselection.com</a> にて氏名、所属、WPS 番号、問合せ内容をお送り頂ければ、翌営業日中には返答をさせていただきます。	

※1 WPS 本体表面には製造番号がありますので、その番号との対応づけは、弊社WPNサーバで行っています。